

衆議院国土交通委員会ニュース

【第198回国会】平成31年4月9日（火）、第4回の委員会が開かれました。

1 石井国土交通大臣から発言がありました。また、牧野国土交通副大臣から就任の挨拶が行われました。

2 国土交通行政の基本施策に関する件

・石井国土交通大臣及び政府参考人に質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑事項）

初鹿明博君（立憲）

（1） 塚田前国土交通副大臣による下関北九州道路に係る「付度」発言問題

- ア 自民党の吉田参議院議員が総理、副総理の地元事業として本道路整備を要請した事実関係の確認
- イ 道路局長が国直轄調査の予算付けの決定権者であるのかの確認
- ウ 公共事業の箇所付けに係る塚田前副大臣の職務権限
- エ 塚田前副大臣から道路局への道路調査費の計上に関する指示の有無
- オ 平成30年12月20日の塚田前副大臣と吉田参議院議員の面会時における同前副大臣の発言内容とその後の対応の確認
- カ 国の直轄調査の対象となった事業が事業化しなかった事例の有無
- キ 道路事業等の個別事業の要望書にこれまで内閣総理大臣が含まれていた事例の有無
- ク 関門会（下関、北九州にゆかりのある自民党、公明党の国会議員有志で結成された会）の要望書を受け、大臣は本道路を総理の地元事業として認識したのかの確認
- ケ 任命権者である総理の要望を指示として、大臣が受け止めたのかの確認
- コ 関門会の要望書を受け、大臣による本道路と他の海峡プロジェクトを別扱いにするよう検討する旨の指示発出の有無
- サ 平成27年8月の緒方林太郎議員の質問主意書の答弁から平成28年11月の衆議院国土交通委員会における吉田宣弘議員への答弁に至るまでの間で本道路整備の方針を転換した時期及び経緯

津村啓介君（国民）

（1） 塚田前国土交通副大臣による下関北九州道路に係る「付度」発言問題

- ア 塚田前副大臣の辞任理由
- イ 辞任理由とした「事実と異なる発言」の内容の確認
- ウ 本問題における「付度」の意味及び塚田前副大臣が慮らなかったと考える理由
- エ 平成30年12月20日における塚田前副大臣と吉田参議院議員の面会時のメモ
 - a メモに対する大臣の見解
 - b 塚田前副大臣の「財務大臣にも要望して頂き感謝」の発言の意味
 - c メモのやり取りを踏まえても、大臣が塚田前副大臣に付度はなかったと判断する理由
 - d 道路局長が事前に「必要性ははっきりしている道路」と発言したことに対する大臣の見解
- オ 塚田前副大臣が本道路整備の決裁権者であるのかの確認
- カ 事業の箇所付けの結果に対する大臣の責任の有無
- キ 直属の上司である総理が名を連ねる関門会からの要望書は受け取るべきではなかったとする考えに対する大臣の見解
- ク 上位の決裁権者からの陳情は控えるべきだとする考えへの大臣の見解

宮本徹君（共産）

(1) 塚田前国土交通副大臣による下関北九州道路に係る「付度」発言問題

- ア 平成 30 年 12 月 20 日における塚田前副大臣と吉田参議院議員の面会時のメモ
 - a メモの記録が、塚田前副大臣の付度発言と符合する点に対する大臣の見解
 - b 面会の場で「総理、副総理の地元の事業」という発言があったかの確認
 - c メモから欠落している部分について、同席した道路局長が記憶しているかの確認
 - d 総理、副総理の地元の道路ということで付度を促しながら、それをカムフラージュして事業を決定したのではないかとの疑念
- イ 下関北九州道路が国の直轄調査の予算がついた過程
 - a 地域高規格道路の候補路線の道路調査について、対象道路を決定する客観的なルール
 - b 地域高規格道路の候補路線の数及び 2019 年度予算で初めて国の直轄調査の予算が付いた路線の数
 - c 候補路線のうち、過去 5 年で初めて直轄予算が付いた路線の数
 - d 国の直轄予算の計上を決めた最終判断者及び経緯、理由を記した文書の有無
 - e 候補路線に係る決定事項は、政務三役に説明をし、指導、助言を得ながら決めているかの確認
 - f 国直轄の調査費を付けることについて、塚田前副大臣からの助言の有無
 - g 平成 30 年 12 月 20 日における塚田前副大臣と吉田参議院議員の面会時等においても本道路について塚田前副大臣と話し合った機会がなかったかの確認
 - h 平成 30 年 12 月 20 日における塚田前副大臣と吉田参議院議員の面会時の発言は、事実上の指示だと認識していたかの確認
- ウ 平成 30 年 10 月 25 日に安倍総理から吉田参議院議員に対し「早期実現に向けた活動をしっかり取り組むように」と述べたとされる報道を国土交通省が把握しているかの確認
- エ 安倍総理の発言から、国直轄調査の予算が付く流れが生まれたのではないかの疑念に対する大臣の見解
- オ 大臣が道路局に対し、下関北九州道路が他の海峡横断プロジェクトと性格を異にするとの提起をした時期
- カ 第二関門橋の早期建設促進の要望書を受領後の懇談会において、安倍総理の名前が出たかの確認

3 アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律案（内閣提出第 24 号）

- ・石井国務大臣から提案理由の説明を聴取しました。

4 国土交通行政の基本施策に関する件

- ・国土交通行政に関する実情調査（アイヌ施策の実施状況等調査）のため、北海道において視察を行った委員を代表して、谷委員長から報告を聴取しました。